

# 名大の時間

## 「将来の夢を追いかけて」

って北海道に行くことだった。岩手県に住んでいた私にとって「北海道」は未知の世界であり、寝ている間に北海道へたどり着くことが魅力的だったのである。「いつか必ず」寝台列車で北海道に行きたい。そう思いながら高校生活を送っていた。

しかし、北海道新幹線の開通とともに北海道行きの寝台列車は廃止され、夢は叶わなくなった。もちろん新幹線の開通で移動は便利になったが「いつか必ず」では夢を逃してしまうことに気付いた。夢は叶えられるうちに行動しなければ後悔することに気付き、思い立ったらすぐに行動しようと決意した。

その思いのとおり、大学生活では様々なことに取り組んだ。勉強面では教職課程を履修し、国家試験まで精いっぱい取り組んだ。サークル活動はできるだけ多く参加し、アルバイトも沢山行った。時には無理をしたこともあったが、この4年間はとても充実した日々だったと感じている。

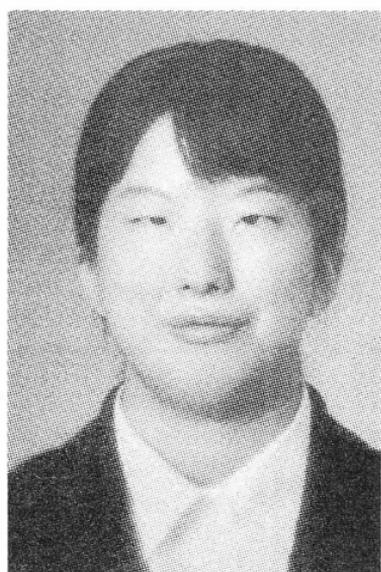
そんな日々の中で気付いたことは、どのような場面でも多くの人に支えられて

いることである。サークル活動を共に盛り上げてきた仲間や、ボランティア活動で知り合った様々な立場の皆さん、趣味やアルバイトで知り合った皆さんなど、どの場面においても「様々な考え方に触れる」ことの大切さを実感した。私一人ではたどり着かないような成果が出る場面に何度も立ち合い、多くの人と協力して物事に取り組む貴重さに気付いた。

また、「自分の夢を

叶えるため」にしていた行動が、いつの間にか他の人の夢や「目指す姿」に影響を与えている面があることを知った。これまで頑張ったことは私だけの成果に留まらず、周囲の人へ前向きな影響を与えるのだと感じた。

これから迎える社



会人生活で、どんな出会いが待っているか楽しみである。大学卒業を迎えた今、私の将来の夢は「多くの人に囲まれ、目いっぱい人生を楽しむ」ことである。

令和3年度社会福祉学科卒業生

田上茉奈